

【G 南島原市-北有馬エリア Minamishimabara City-Kitaarima Area】



有馬川から(有馬川殉教地、日野江城跡越しに)

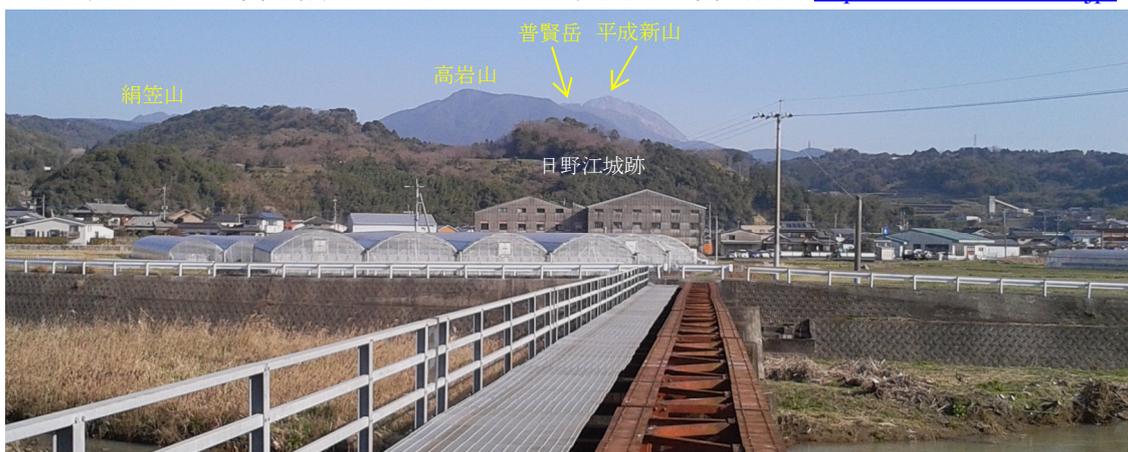
南島原市-北有馬エリアでは、“**南西面の雲仙岳**”が眺望できます。小中学校の校歌には**雲仙岳**が登場し、地域で古くから親しまれてきたことが分かります。**雲仙岳**の山岳信仰が盛んであった往時をしのぼせるものとして、温泉神社の分社(北有馬の温泉神社)が現存しています。

山並みとしては、高岩山と普賢岳、平成新山がやや折り重なって見えるのが特徴で、相対的に目立つのは高岩山です。高岩山には、**雲仙岳**の化身とされる巨人“みそ五郎”にまつわる伝説が多く、当エリア内にも伝説が残っています。当エリアの北端に論所原(ろんじょぼる)という草原地帯があり、キャンプ場や乗馬体験施設がありますが、ここから九州自然歩道(九州を一周している歩道)を通して高岩山に登るコースは人気があり、気軽に登山が楽しめます。

中世の時代、当エリアは島原領主の有馬氏の本拠地となり、有史以前に**雲仙岳**が形成した溶岩台地の先端(南端)の地形を利用し、居城“日野江城”を構えていました。有馬晴信の時代にはキリシタン大名となり、日野江城下に有馬セミナリヨが創設され、その第一期生の4名の少年が“天正遣欧少年使節”としてローマに派遣されました。その後の江戸時代初期の“島原・天草一揆”の際には、当時の有馬村の村民ほぼ全員が一揆に参加したとされています。

**雲仙岳**の様々な表情を探しながら、北有馬エリアを旅してみませんか？

●北有馬エリアの観光情報はこちら ⇒ 南島原ひまわり観光協会 <http://himawari-kankou.jp/>



有馬川にかかる旧島鉄南目線の鉄橋から(南西から)



国指定史跡: 日野江城跡



400年前のクリスマス行事を再現するイベント